

【件 名】	丸八橋補修工事（橋面舗装）	【事務所名】	第五建設事務所	
【工事場所】	東京都江東区北砂五丁目地内から同区大島五丁目地内まで 「特例都道南砂町吾嬬町線（第476号）丸八通り」	【受注者名】	丸藤小林土木株式会社	
【工 期】	令和7年4月1日から令和8年2月17日まで	【主たる技術者名】	巴 雄介	

【工事概要】

丸八橋の橋面舗装、伸縮装置、横断防止柵等付帯構造物が経年により劣化しているため、補修を行う工事である。

- ・橋面舗装打替え 4,169㎡
- ・伸縮装置取替 78.6m
- ・横断防止柵取替 621.6m

【表彰理由】（※発注者側評価）

交通量の多い現道を供用しながらの施工であったが、受注者は交通渋滞を回避するために施工ステップを綿密に計画し、可能な限り対面通行を確保することで、地域への影響を最小限に留めた。また、夜間作業において地元から騒音苦情が寄せられた際には、真摯かつ誠実な姿勢で対応し、自発的に対策を行うことでトラブルを回避した。また技術面では、橋面排水を伸縮装置の二次止水材へ導入する構造を提案する等、高い技術力を発揮した。加えて、地域住民への工事理解促進に向けたイメージアップ活動にも取り組んだ。特に、雪害時の除雪や、近隣店舗の壁面剥落時には積極的に保安協力する等といった、工事範囲を超えた地域貢献への積極的な姿勢は、他工事の模範となるものであった。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

橋面上での作業のため、橋の構造上音が反響し、近隣住民への対応に苦労しました。担当工区、所轄警察署と緊密な協議、調査を行い、施工時間、音の出る作業工程、交通への影響の少ない時間の調整を行うことが難しかったです。

◇ 特に工夫した点

工事に対し都民から理解を得るため、イメージアップや工事のお知らせ、地域住民に対する施工時間、騒音対策を行い公共工事のイメージアップに努めました。また橋面上に排水柵が無かったため、橋面の排水方法を検討し、処置を施しました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

苦労や、工夫した点が多くありましたが、それらを乗り越え現場が完成し、新しく生まれ変わった橋を気持ちよく利用している人や車両を見るとすごくうれしくなり、達成感を覚えます。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

建設業は苦労する時や、大変な時もありますが、工事を完了したときの喜びや、それを利用し感謝してくれる人がいます。建設業は工事を通して都民を守り、地図に残る誇れる仕事です。



工事看板（イメージアップ）